

いいね！鉄道

～鉄道にまつわる漢字～

鉄

テツ

鐵

もとの字は鐵で、音を表すのは**載**。載には黒いという意味があり、赤黒い毛の馬を驥という。鉄は黒い金属、「くろがね、てつ」をいう。

首と辵（辵）とを組み合わせた形。辵は歩く、行くという意味がある。道は、敵の首を持って行くという意味。古代中国では、他の氏族の土地を進む時、敵の武将の首を持って悪霊をはらい清めたとされる。はらい清められた所を道といい、「みち」の意味に使った。

道

道

ドウ・トウ
みち

線

セン

線

音を表すのは泉。泉は崖の下から流れ落ちる細い水の形。線とは細い縫い糸のことで、のちに細い物すべてを表す意味となった。

音を表すのは各。各に口の音がある。各は神が天から降りてくるという意味がある。それに足を加えた路は、神の降りる「みち」をいう。

路

路

ロ
じ

駅

エキ

驛

もとの字は驛で、音を表すのは畢。畢は、けものの死体の形。𠂔は目、その下の部分は手と足の形。死体はとけて分解するので、畢はばらばらにほぐれて長く続く状態のものをいう。駅とは長い道路に連なって置かれた「うまや」を意味した。今は日本では電車の駅の意味に使う。

雨と申とを組み合わせた形。申は稲妻の形。申に気象を表す文字につける 雨 をつけた電は、「いなずま、いなびかりのようにはやい」の意味に使われた。

電

電

デン

列

レツ

𠂔

𠂔 (歹) と刀 (リ) とを組み合わせた形。𠂔 は首を切られ、頭髪の残っている人の頭の形。これに刀を加えた列は、人体を頭部と胴体とに切り分けることをいい、「わける」の意味となる。また、その頭骨を並べることを列といい、「ならべる、つらねる」の意味となる。

もとの字は辯で、音を表すのは弁。弁は辛（入れ墨に使う針）を二本並べた形。言は神への誓いの言葉。辯は、もし約束を破ったら入れ墨の刑罰を受けますと誓ってから、裁判で原告と被告が言い争うことをいう。「あらそう、さばく、わける」の意味に使う。なお、弁のもとの字には別に辨（辨）、瓣（瓣）もある。

辯

弁

ベン